

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）主催、  
システムズエンジニアリングの有用性・有効性について、国内外の有識者による講話を行う「SEC  
特別セミナー」（大阪）について

ご関心がございます方はぜひご応募ください。  
詳細は以下をご参照ください。

（SEC 特別セミナーに関するお問い合わせは、  
【SEC 特別セミナー事務局 [sec-pr@ipa.go.jp](mailto:sec-pr@ipa.go.jp)】  
まで、お願い致します。）

---

【SEC 特別セミナー】

IoT 時代に向けたシステム開発における課題と備え  
～システムズエンジニアリングのベストプラクティス事例～・・・10/26

---

近年、多様・複雑に連動するシステムの開発に、システムズエンジニアリングが有効とされています。IPA/SEC の本年度事業計画のひとつである「システムズエンジニアリングの普及」において、その取り組みの一環としてフラウンホーファー研究機構 / IESE（※ 1）と協業して、欧州企業におけるシステムズエンジニアリングの先進適用事例・課題克服のベストプラクティスの調査・分析を実施しました。

その調査・分析から得られた成功事例・教訓事例について IESE 講師からの解説を中心に、システムズエンジニアリングの有用性・有効性について、国内外の有識者による講話を行う、IPA 特別セミナーを東京・大阪で開催します。

本セミナーを受講することで、自身の企業・組織におけるシステム開発の実践について気づきを得ることができ、自身の組織に伝えるべきアイデアや、成功事例を学ぶことで、失敗を事前に回避するヒントを得ることができます。

（※）ドイツ フラウンホーファー研究機構 実験的ソフトウェア工学研究所（IESE）

【大阪】

- ・会期：2016 年 10 月 26 日（水）10:00～17:00
- ・会場：大阪大学中之島センター10 階 佐治敬三メモリアルホール  
大阪府大阪市北区中之島 4-3-53
- ・主催：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）技術本部ソフトウェア高信頼化センター（SEC）
- ・共催（予定）：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（SDM）  
大阪商工会議所、一般財団法人関西情報センター（KIIS）
- ・後援（予定）：特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会（ITCA）

近畿経済産業局、組込みシステム産業振興機構 (ESIP)

・ 定員 : 200 名

・ 参加費 : 無料

【 ・ お問い合わせ先 : SEC 特別セミナー事務局 [sec-pr@ipa.go.jp](mailto:sec-pr@ipa.go.jp) 】

・ 詳細は下記 WEB サイトをご覧ください。

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161026.html>

【大阪】

9 : 30

受付

10 : 00~10 : 10

オープニング「本年度 SEC の取り組みについて」  
IPA/SEC 所長 松本 隆明

10 : 10~10 : 20

ご挨拶  
近畿経済産業局 地域経済部長 吉野 潤 氏

10 : 20~11 : 10

システムズエンジニアリングとは (仮)  
慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・マネジメント (SDM) 研究科  
准教授 白坂 成功 氏

11 : 10~12 : 00

IoT に向けた現状システム開発の課題と取り組み  
特定非営利活動法人 CeFIL デジタルビジネス・イノベーション  
センター 副代表 小西 一有 氏

12 : 00~13 : 00

～昼休憩～

13 : 00~13 : 30

共催団体の取り組み  
大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術・水ビジネス振興担当  
課長 玉川 弘子 氏  
一般財団法人関西情報センター (KIIS) 事業推進グループ・  
リーダー 主任研究員 石橋 裕基 氏

13 : 30~13 : 50

IoT の産業へのインパクト ～関西での事例～  
近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課長  
石原 康行 氏

13 : 50~14 : 00

～休憩～

- 14 : 00~14 : 50 ドイツにおけるシステムズエンジニアリングの事例調査 (1)  
システムズエンジニアリングの事例調査 概要と分析結果  
フラウンホーファー研究機構/IESE  
Dr. Jens Heidrich (イェンス・ハイドリッヒ博士)
- 14 : 50~15 : 40 ドイツにおけるシステムズエンジニアリングの事例調査 (2)  
システムズエンジニアリングのベスト・プラクティス  
フラウンホーファー研究機構/IESE  
Dr. Martin Becker (マルティン・ベッカー博士)
- 15 : 40~16 : 00 ~休憩~
- 16 : 00~17 : 00 講師によるパネルディスカッション+Q&A、クロージング
- 
-